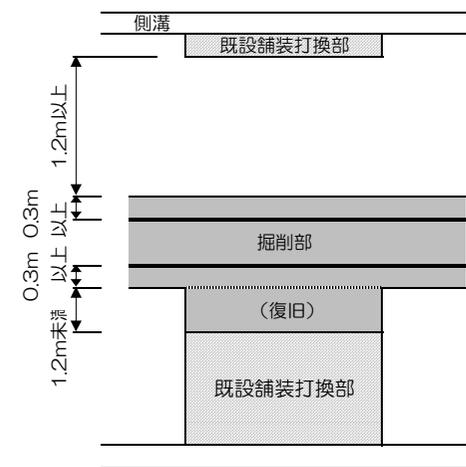
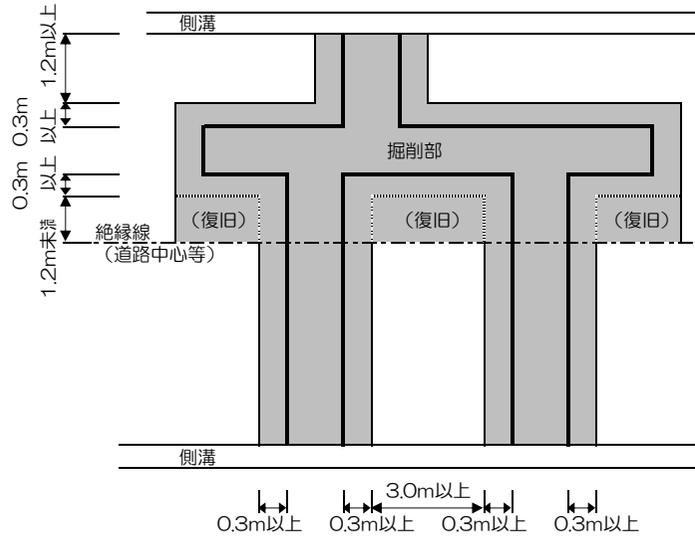
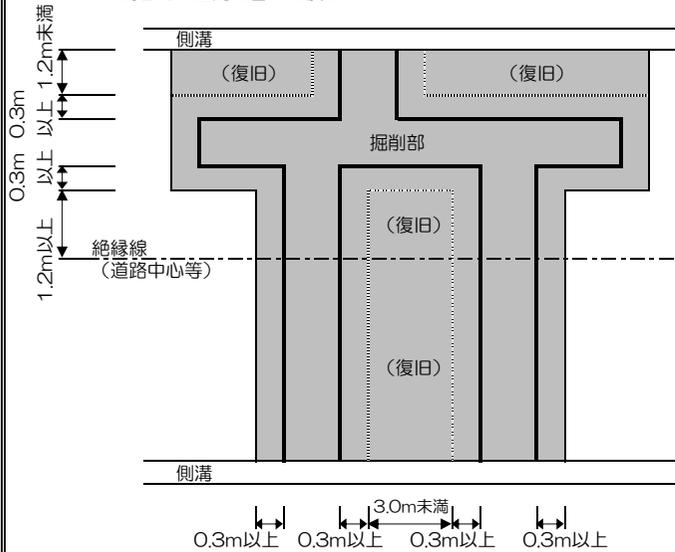


舗装幅員4.0m以上の道路の復旧（復旧範囲：■）

- ・縦断掘削の影響幅（0.3m以上）を除いた側溝までの距離が1.2m未満の場合その区間も含めて復旧
- ・横断掘削の影響幅（0.3m以上）を除いた距離が3.0m未満の場合その区間も含めて復旧

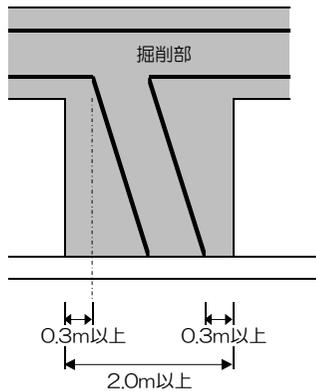
- ・縦断掘削の影響幅（0.3m以上）を除いた絶縁線（道路中心等）までの距離が1.2m未満の場合その区間も含めて復旧

- ・縦断掘削の影響幅（0.3m以上）を除いた絶縁線（既設舗装打換部）までの距離が1.2m未満の場合その区間も含めて復旧

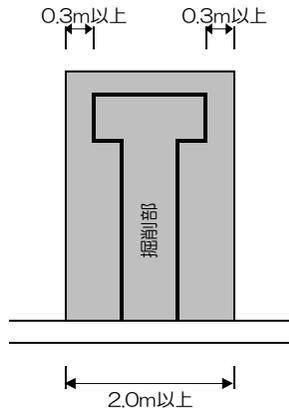


斜め掘削の復旧

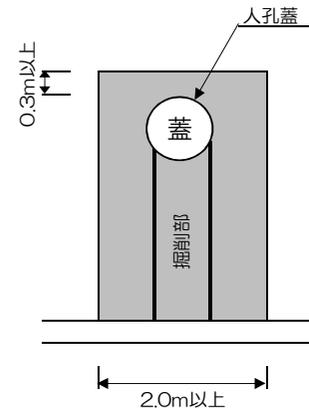
- ・斜め掘削の復旧は最低30cmを確保して道路に直角に復旧



掘削幅が異なる場合の復旧

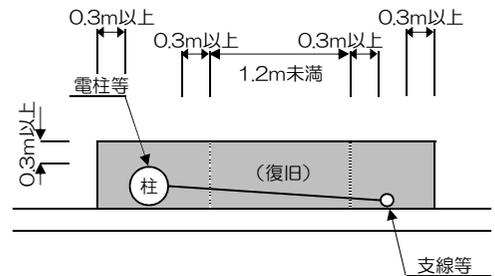


人孔周囲の復旧



電柱等の周囲の復旧

- ・オーガー等による掘削部分から影響幅を30cm以上（使用する転圧機の転圧部分の寸法以上であること）として復旧する。

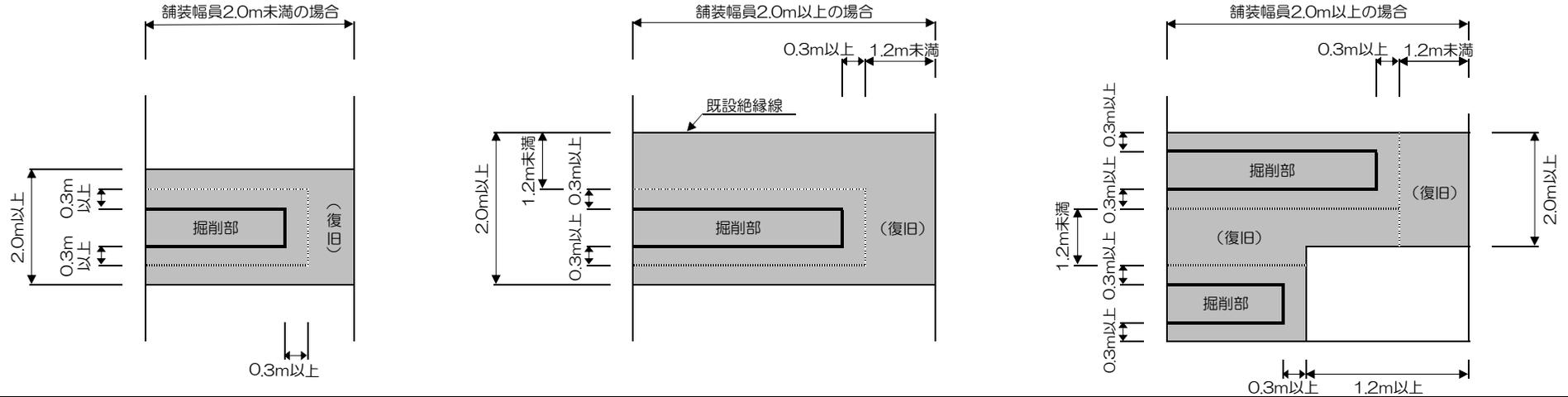


市道占用工事舗装復旧標準図（歩道・平面図）

(別図2)

■一般部 (復旧範囲:)

- ・舗装幅員2.0m未満の歩道は、全幅員を復旧する。
- ・舗装幅員2.0m以上の歩道は、影響幅(0.3m以上)を除いた横断方向の舗装端部までの距離が1.2m未満の場合には、その区間も含めて復旧する。
- ・歩道縦断方向には、復旧幅2.0m以上を確保する。
- ・歩道縦断方向で影響幅(0.3m以上)を除いた絶縁線までの距離が1.2m未満の場合には、その区間も含めて復旧する。



■植樹樹がある場合 (復旧範囲:)

- ・植栽樹端部までの舗装幅員が2.0m未満の歩道は、全幅員を復旧するものとする。
- ・植栽樹端部までの舗装幅員が2.0m以上の歩道は、影響幅(0.3m以上)から植栽樹端部までの距離が1.2m未満の場合には、歩道全幅を復旧するものとする。
- ・歩道縦断方向には、復旧幅2.0m以上を確保する。
- ・歩道縦断方向で影響幅(0.3m以上)を除いた絶縁線までの距離が1.2m未満の場合には、その区間も含めて復旧する。

